

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	まさき園 児童発達支援センター		
○保護者評価実施期間	令和7年12月1日 ~ 令和7年12月26日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31	(回答者数) 25
○従業者評価実施期間	令和7年12月1日 ~ 令和7年12月27日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 11
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月29日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもにあわせた粗大運動の設定を提供</li> <li>状況に合わせて提供できるようにしている</li> <li>掲示板の充実(給食の献立を写真で掲示、季節の壁面)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全配慮</li> </ul>
2	保護者との相互理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>送迎時に保護者とお子様のすがたについてお話して共感を 得ている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要時に担任との懇談を設けてより深く話し合えるきかい をつくる</li> </ul>
3	子どもにあわせた取り組みの実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの成長に合わせた3グループで活動。各グループ特 色のある活動が実施できている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年度ごとで利用されるお子様にあわせたグループ活動を実 施する</li> </ul>

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会	父母の会を立ち上げるには時間を要するが保護者同士の相談 会を設ける	外部事業を依頼しながら計画していく
2	利用される甥子様の交流会	外出時の移動手段が徒歩になるため地域との交流が難しい	現地集合、現地解散の交流会を検討する
3	保護者勉強会	お子様がみえるので、お子様を預かる環境が必要	ボランティアの招聘 親子サロンの内容の再考

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 まさき園 児童発達支援センター

公表日 令和8年3月25日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	1	・遊戯室での活動は利用児童の人数によって時間をずらし配慮している	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	4	・その日の職員の数に合わせて配置調整できている	・職員の欠勤が重なった時の対応 ・職員の休みが重なった時に協力し合える体制の見直し(日によって職員配置人数の差が激しい) ・担当のないフリーの職員が配置できるとよい
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10	0	・各教室子どもの力に合わせたツールを活用している	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10	0	・活動前後の掃除を実施と空気の入替えを行っている	・手すり、ノブの除菌についての再徹底
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10	0	・教室でも仕切って安心できる場を作っている	
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	10	0		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0	・毎年いただいた評価を職員で回覧し改善検討している	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0	・定期的な学習会と週末ミーティングを実施している ・活動終了後に職員で話し合う時間を設けてコミュニケーションも図っている	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	4	・第三者評価は設けていない	・外部評価はないが法人の改善委員会にて評価結果を基に改善に取り組んでいる
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10	0	・毎月の学習会で学ぶ機会がある ・オンライン研修もあり自主的に学ぶ機会の提供がある	
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10	0	・法人のHPと紙面で公表した。職員間も紙面での確認と口頭での確認をしている	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7	3	・その日の気づいた子供の記録を大切にしている ・支援会議対象児童を意識して見るように職員で周知して取り組んでいる ・個別支援計画作成前に取り組むようにしている	・全職員でのアセスメント見直し ・職員一人の評価になりがちになる
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10	0		
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10	0	・個別支援計画が更新されたら職員に回覧等で共有。クラス単位で支援方法の話合いができています	・子ども変化に対する支援方法がアップデートできていない時がある
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	4		
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10	0	・毎月の支援会議にて意見を出し合いながら支援内容を設定している	

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	1	・クラス担当で継続する活動、工夫する活動を話し合って決定している ・基本的に正規職員が立案している。意見は出している	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	1	・月案を作り活動のバランスを確認している ・「難しいかな?」と思われるプログラムに取り入れることで成長に気づくことがある	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	10	0		・個別活動を取り組む時間の設定
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	2		・作業が優先になってしまい話し合いが持たない
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	2	・支援中などタイミングを見て振り返りを行っている ・短い時間であるがその日の振り返り、気づきを伝えあい振り返っている ・気づいたことはその日のうちに共有するようにしている	・勤務終業の兼ね合いから参加できない
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10	0	・クラス毎で記録ノートを準備したことで個々の見たい情報が見れるようになった ・保護者様の情報も記録し検証、改善につなげるようにしている	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	1	・支援会議前にモニタリングを6カ月以内に行っている	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	1		・必要に応じて担当職員も参加すると良い
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	3	・必要に応じて医療機関にまさき園でのすがたを文面で提出させていただいたり連携会議で共有している	
	26	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	1	・教育委員会、特別支援学校と就学前に情報共有している	
	27	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	10	0		
	28	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	10	0	・難聴児支援派遣職員、希望ヶ丘担当医、他児童発達支援センター専門職員から助言をいただいている ・研修を受け職員に周知した	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	6	4	・今年度、子ども子育て部会を発足した	
	30	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	31	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	9		・併用通園のないお子様に対して機会を設ける
	32	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10	0	・その日の様子をお迎え時に丁寧に説明することができている	
	33	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	10	0	・ペアレントプログラムを実施 ・実践内容を共有することで保護者様の気持ち、悩みを知ることができている	・ペアレントプログラムの内容を広く知ってもらえるようにする。定着に努めていく

保護者への説明等	34	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	2	・年度始めの会議で運営体制等説明している	
	35	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点の踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10	0	・日々の引継ぎの中で話題に取り入れるようにしている	
	36	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	10	0	・懇談を実施して説明、同意を得ている	
	37	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10	0	・一週間のうちに担当の保護者様と話ができるように気を付けている ・即答が難しい件は、相談を受け後日お答えするようにしている	
	38	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	4	・親子クラスは保護者同士で話し合う環境がある ・単独通園は「まさきのね」を開催し歯磨き指導、交通安全教室、リトミックに親子で参加する機会を設けている	・親子サロン、保護者会で普段交流できない保護者同士の交流の機会があると良い
	39	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10	0	・保護者様からの相談は誰が受けても担当職員に報告し、担当職員が主任等に相談するようにしている	
	40	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	10	0	・通信、毎月のおたより、依頼事はホワイトボードに書いて発信している	
	41	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10	0	・個人端末は支援時に持たないようにし、ロッカーに入れている	
	42	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10	0	・保護者様に対して必要事項がある日はメモ書きでお渡ししている	
43	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	9	1	・地域の外部講師を招いている ・行事を開催している		
非常時等の対応	44	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10	0	・毎月、命を守る訓練をしていることで自分で考えて行動ができるようになってきている	・マニュアルに沿った訓練のみである為、避難経路が確保できない想定や、応急処置法、簡易担架の作り方などを訓練する必要がある
	45	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10	0		
	46	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	9	1	・毎年児童票の記入をお願いする事や、処方箋のコピーをいただき周知している	
	47	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	4	・現在、アレルギーのあるお子様がいない	
	48	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10	0		
	49	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10	0	・計画に沿って外部からの教室を開催することや機関誌で発信している	
	50	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	2		・ヒヤリハットの記録が細かくできていない
	51	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10	0		
52	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8	2			